

南ぬ島石垣空港開港に伴う通行車両増加への 交通安全対策を求める要請決議

八重山郡民の長年の悲願である待望の南ぬ島石垣空港が、去る3月7日に開港いたしました。今後、本圏域における経済・文化の振興発展に寄与するとともに、住民生活の向上に大きく資するものであります。

新空港開港によって、観光客の増大や人的交流及び物流等が一段と活発になると同時に、これに伴う空港と中心市街地を往来する交通車両が大幅に増加し、交通安全対策が喫緊の課題となっております。

しかし、交通量の緩和も期待される新空港アクセス道路「一般県道石垣空港線」の完成は、2016年度となっており、少なくとも向こう3年間は、国道390号線の通行が主になります。沖縄県によると、アクセス道路の通行量は1日当たり7,500台と推計しており、アクセス道路が完成するまでの間、国道と隣接する各集落内を大量の車両が通行することになります。

そこで、とりわけ懸念されるのが大浜、磯辺、宮良、白保の地域内を通る国道390号線や川原地区の県道209号線などの幹線道路における交通安全対策であります。集落内を通行する車両の急激な増大は、道路の混雑や事故発生率を高めるもので、児童生徒の登下校やお年寄りの安全確保に不安と強い危機感を抱かざるを得ません。

いま、集落内を通行するドライバーが最も細心の注意を払うことはもとより、関係機関にはその指導と対策が求められております。

よって本市議会は、国道390号線や川原地区の県道209号線などに隣接する地域住民への交通安全対策を図るとともに、住民の安心・安全な生活を確保するため万全な取り組みをするよう関係機関に強く要請いたします。

以上、決議する。

平成25年3月21日

石垣市議会

あて先

沖縄県知事、沖縄県公安委員会、沖縄県八重山警察署、八重山地区交通安全協会